

# 7章：各種コンクリート

特殊な施工が必要なコンクリート

## マスコンクリート

断面寸法が大きいことにより水和熱が蓄積され、温度応力を生じる。

温度降下時に、温度応力によって、ひび割れを生じることがある。

## 寒中コンクリート

日平均温度が、4 以下のときの、コンクリート打設工事

## 暑中コンクリート

日平均温度が、25 以上のときの、コンクリート打設工事

各種コンクリート

## プレバクトコンクリート

prepacked concrete

粗骨材を予め型枠に詰め、その空隙にモルタルを圧入し、間隙の水と置換しな  
充填する工法（水中コンクリートの前身）

水中コンクリート

under water concrete

海洋 / 河川などの水中に、特殊なコンクリートを、特殊な工法にて打設する工法  
水中不分離コンクリートを採用することが多い

吹付けコンクリート

shotcrete

ノズルによって、コンクリートを直接、壁面に吹き付ける工法（型枠は用いない）  
トンネルの1次ライニング、地下発電所のライニング（内側の壁面）、切取り法面の保

鋼繊維コンクリート

steel fiber concrete

短繊維を一様かつランダムに分散混入したコンクリート：鋼繊維、合成繊維  
短繊維の混入により、コンクリートのひび割れ抵抗性、靱性が改善される

高流動コンクリート

high fluidity concrete

材料分離抵抗性を損なうことなく流動性を高めたコンクリート

振動締固め作業を行うことなく、型枠の隅々まで充填できる

自己充填コンクリート : self-compacting concrete